

令和4年度第3回総合エネルギー統計検討会の概要
(令和 5 年 3 月 1 日－3 月 7 日書面開催)

1. 委員からの意見・質問等と事務局回答の概要

議題、意見等	事務局回答
1.1 電気事業者の蒸気販売分の計上方法 現状、地域熱供給事業者の熱供給量に対して、電気事業者の熱供給量はどれくらいか。	原燃料投入ベースでみると、現在の地域熱供給の約 4 割程度になる。そのため熱供給は現在の総合エネルギー統計の 1.4 倍ほどになる。
2.1 太陽光発電等の発電量の把握方法 家庭用・事業用太陽光発電の自家発自家消費分の把握は今後検討される方向か。	検討する。
2.2 電気自動車の電力消費量の把握に向けた検討 現状の進捗などはどのような状況か。	現在省内でどのような対応ができるか検討を行っているところ。
2.2 電気自動車の電力消費量の把握に向けた検討 電気自動車(全国計)の走行距離(km)と平均原単位(km/kWh)の把握ができれば電力消費量の推計は可能か	可能。
2.2 電気自動車の電力消費量の把握に向けた検討 EV 充電業界や自治体の EV 充電量が把握できれば、それをその他業務部門分として、家庭部門分は差分として求められるか。	家庭以外の充電量が把握できれば、EV 全体の電力消費量の推計値からこれらの充電量を差し引いた残りを家庭部門での充電量とすることは可能。ただしこの場合、家庭以外の充電量をどのように把握するかが課題。

2. 結果

令和4年度第3回総合エネルギー統計検討会で諮られた事項及び報告された事項については今後引き続き検討して行くこととなった。